



The Bamboo Shoots

～地方季刊新聞～
大和高田・リズモー都市友好協会 発行
2017年 冬号

No.173

連絡先：大和高田・リズモー都市友好協会

TEL：0745-22-1101

<http://www.city.yamatotakada.nara.jp/lismore/>

このバンブーシューツ(筍)が、大和高田市とリズモー市の情報交換に役立つ立派な竹に成長するように

English World ～世界を旅しよう～



平成 29 年 11 月 23 日、市民交流センターで英語のイベント「English World」を、大和高田・リズモー都市友好協会主催で、開催しました。このイベントは、出身国の違う 6 名の講師が、それぞれの国の文化や特徴などを伝える内容です。入口で模擬パスポートをもらった子どもたちは、各国のブースをまわって、学習し、その国のスタンプを押してもらいました。

当日は、78 名の子どもたちが参加しました。また、友好協会会員スタッフの他に、畿央大学の学生ボランティア 4 名、一般ボランティア 3 名の協力がありました。

参加した子どもたちは、講師の話をよく聞き、各国の文化を学び、英語の世界を楽しみました。





「English World」にようこそ！

イベント「English World」の準備や構成に7か月かかりました。この「English World」を通して、子ども達は世界中の国の違いを学ぶという、素晴らしい時を過ごし、大成功をおさめました。カナダ、アメリカ、イギリス、フィリピン、ガーナ、セントビンセント・グレナディーン諸島や、オーストラリアの国の先生が集まったので、子ども達は各国の先生から多くの文化・風俗習慣を、お互いに体験し合いました。このイベントに参加した子ども達は、英語で新しい経験を学び、楽しい時を過ごしました。私は、それぞれの国について教えてくださった先生方に感謝し、ボランティアとして助けていただいた協会員の皆さんや、畿央大学の学生たちにも、感謝しています。そして、最も大事なことから、イベントに参加して色々なことを学んでくれた子ども達に感謝します。一生懸命に学ぶ子どもたちがいなければ、このイベントは出来なかったでしょう。来年もさらに楽しくできるように、努力していきたいです。



English World 統括リーダー
クラウディオさん

バンブーイングリッシュ

バンブーイングリッシュは、大和高田市でますます人気が高まっています。色々な活動やゲームを通して楽しく英語を学んでいます。このプログラムを継続するために、大和高田市やボランティアの方々の支援や援助を頂いて、私は大和高田市でずっと英語を教えられる事を誇りに思っています。彼らは熱心な生徒さんたちで、これからのバンブーイングリッシュの一翼をになっています。皆さん方の献身的な努力なしでは、このプログラムは存在し得ないでしょう。



リズモー交換留学生アンケート 2017.9.22~10.4

1)大和高田市の第一印象は？

- ・とても綺麗で平和的な町であり、リズモー市とはかなり違っていた。
- ・私の第一印象は、とても美しく、私の大好きなオーストラリアとは違う点もあった事は、とても良かった。広がっている田んぼを見て、興味深かった。
- ・私は、2017年9月22日に日本の大和高田市に初めて着いた時には、とても興奮した。私の第一印象は信じられないくらい町は美しかった。とても気に入ったので、帰りたくなかった。いつか、私の家族を日本に連れてきたい！
- ・町は、かなり大きくて、驚くほど美しい。人々も素晴らしかった。

2)文化や習慣の違いで驚いたことは？

- ・日本は、とても伝統的で私たちと比べてマナーも良かった。
- ・とても伝統的な日本の姿が好きだった。みんな、人々がお互いに尊重し合っていて、学生たちは、学校の掃除もしていた！家庭でも違っていたのにも驚いた。彼らはオープンをあまり使わないようで、ほとんどキッチンテーブルで料理されていたように思った。
- ・私は、オーストラリア人も日本人も好きだが、日本人はお互いを尊重し合い又、礼儀作法も良くてオーストラリア人とは違う一面もあった。日本人は文字通り、完璧！実際のところオーストラリア人も見習うところがある。日本人のマナーの良さについても驚いた。
- ・トイレについて、とても混乱したが、すぐに慣れた。

3)ホストファミリーについての印象は？

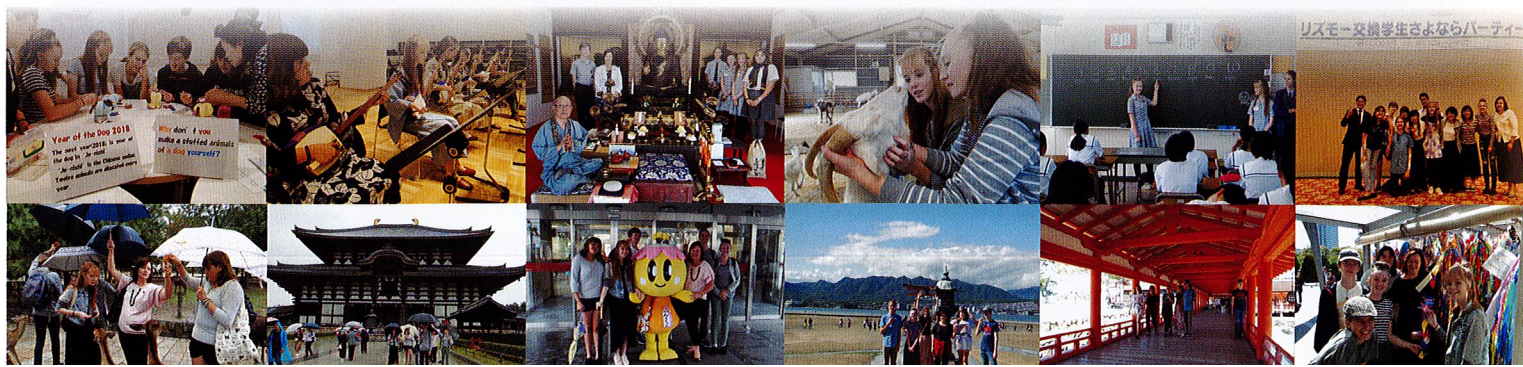
- ・彼らは、私をまるで家族のように扱ってくれた。
- ・彼らはとても優しく、私を歓迎してくれた。いつも

私が快適に過ごしているかを日々確かめてくれ、素晴らしい家族が大好きになった。オーストラリアではあまり一般的ではないが、祖父母も一緒に住んでいて英語を話す力は少し不足していたが、彼らと一緒に過ごす時間は楽しかった。

- ・大好きで、彼らとの思い出をスーツケースに詰めて持って帰りたいと思ったほどだ。とても素敵な人で、私を気遣ってくれた。ホストマザーは、私を一人の子供のように感じさせてくれたり、いつも私のことを一番に考えてくれて、とても感謝しています。私のホストシスターは、私が居るところでは、英語だけを使ってくれて、私が、家族と一緒に楽しく過ごせるように常に気を配ってくれた。とても嬉しかった。
- ・とても礼儀正しかった。家族は、それぞれ違った時間に帰ってきていた。小さな土地に大きな家を建てていた。

4)広島訪問の第一印象は？

- ・私は、本当に広島訪問を楽しみました。同時に、予想していたのと違っていたと思った。
- ・広島訪問が大好きだった。とても美しい町で気に入った。平和記念館の訪問が楽しかったので、今離れるのがとても寂しいです。
- ・私は、広島で様々な活動をして楽しんだけど、原爆資料館に行って、とても悲しい思いをした。私は、広島で現実に起こったことや、それがどうして起こったのかを知った今は、広島訪問がとても良い思い出となった。広島に関する私の印象といえば、現実に起こったことから、今の新しい町をつくり上げ、そしてそれが今では実に美しい町になっていることから、広島がなんて力強い町だということです。
- ・広島は、悲しい出来事があったとはいえ、興味をひく町だった。



ホストファミリーアンケート 2017年

リズモー市からの派遣学生を受け入れられたホストファミリーにアンケートをとりました。

ほとんどの学生たちは、お互いの家庭に交換留学生として約2週間過ごしました。

1) 留学生を受け入れて戸惑ったことは？

・家族が十分英語を話せないの、細かい意思疎通ができず、留学生を戸惑わせたろうこと。

・住まいがマンションなので、一人になれる部屋がなかったの、いつも“見られてる感”を感じないか心配だった。あとは、言葉、コミュニケーションが取れるのかどうか、とても心配だった。

・食べる物も「何でもいい」と言ってくれたが、何が食べられるのかわからなくて困った。

・戸惑ったことは、特になかった。

2) 文化(習慣)の違いを実感したことは？

・シャワーの時間が短いこと。食事について、“三角食べ”ではなく一皿ずつ順に食べていたこと。

・シャワーを朝に浴びるのが習慣だったので、朝の時間の使い方が違うと感じた。食事のとき、ナイフ、フォークを準備していても、上手にお箸を使ってくれて、日本の文化を受け入れようとしていた。

・日本人のホスピタリティに驚かれたとき、改めて文化の違いを感じた。

3) 一緒に過ごして楽しかったこと、嬉しかったことは？

・家族も初めて行く観光地へ一緒に行けたことや、日本の食べ物がすべて美味しいと言ってもらえたこと。英語が得意でない家族ともゲームで盛り上がるのができた。

・共に過ごせる時間は、すべて楽しかった。もっと多くの時間を共に過ごしたかった。嬉しかったことは、何をするときも嫌な顔をせず、笑顔で「OK!」と言ってくれたことや、片言の英語を日本語で話しかけたときも、聞こうとする姿勢をもってくれた。

・食べたことのない日本食を楽しんだり、色々な場所に行って、大変喜んでもらったことが、とても良い思い出になった。

4) また機会があれば、ホストファミリーを引き受けたいですか？

・家族全員が家に居る時間が短いので、せっかく来日しても、日本の家庭を楽しんでもらう自信がない。

・引き受けたいと思うが、家の環境や条件が整えることができるかわからない。

・環境が整っていれば、受けたい。

・オーストラリアからの学生を受け入れれば、きっと楽しいだろう。

